副本

令和４年(ワ)第３０９５５号　国家賠償請求事件
原　　告　　相嶋[redacted]　ほか２名
被　　告　　国

証拠説明書(乙Ｂ)(2)

令和５年８月２４日

東京地方裁判所民事第３０部合議２Ａ係　御中

被告指定代理人　江　原　謙　一
古　川　善　健
西　方　俊　平
古　瀧　孝　明
五十嵐　雅　子
内　城　　　良
小　松　裕　樹
鮎　川　真　士
三　好　　　昇

略語等は、被告の準備書面等の例による。

号証	標目 (作成者)		作成 年月日	立証趣旨
乙Ｂ２	意見書 (京都医療少年院長 [redacted] [redacted])	原本	令和 5. 8. 18	東京拘置所の医師の対応に問題点は認められず、東京拘置所の医療上の措置は適切であったといえること等
乙Ｂ３	「高齢者の貧血をどう診るか」と題する論文 (森眞由美(日老医誌2008:45:594-596))	写し	平成 20	加齢に伴い、血色素の数値が低下すること、赤血球恒数(ＭＣＶ、ＭＣＨ)に異常がある場合には精査が必要であること等
乙Ｂ４	「貧血の分類と診断の進め方」と題する論文 (成田美和子(日本内科学会雑誌104巻7号))	写し	平成 27. 7. 10	高齢者の貧血の明確な定義はなく、健診などでは成人の基準値を用いて判定されているものの、臨床的にはＨｂ濃度１１g/dlをおおよその境界とすることが多いこと等
乙Ｂ５	「Ｅａｓｔｅｒｎ Ｃｏｏｐｅｒａｔｉｖｅ Ｏｎｃｏｌｏｇｙ Ｇｒｏｕｐ Ｐｅｒｆｏｒｍａｎｃｅ Ｓｔａｔｕｓ Ｓｃａｌｅはクリーンルーム内での同種造血幹細	写し	平成 22	ＥＣＯＧＰＳは基本的に医師を中心とした医療職が評価を行う尺度であり、その段階付けは評価者の主観による部分が大きいこと

	胞移植患者の身体活動量を反映しているか？」と題する論文 （井上順一朗、小野玲、竹腰久容、三輪雅彦、黒坂昌弘、岡村篤夫、松井利充、佐浦隆一（理学療法科学25巻2号）165-169）			
乙Ｂ６	「臨床検査項目一覧」と題する文書 （ＪＡ北海道厚生連札幌厚生病院ホームページ（https://www.dou-kouseiren.com/byouin/sapporo/outline/vtlbv7000000jwns.html））	写し	令和 3.4.1	臨床検査項目とその基準値等
乙Ｂ７	「腫瘍マーカー検査とは」と題するホームページ文書 （国立研究開発法人国立がん研究センター（https://ganjoho.jp/public/dia_tre/inspection/marker.html））	写し	令和 5.8.2	腫瘍マーカー検査は、がんの診断の補助や、診断後の経過や治療の効果をみることを目的に行うものであり、がんの目安の参考となる検査であること
乙Ｂ８	「血液製剤の使用指針」	写し	平成	高度の貧血の場合には、一般

	と題する文書 （厚生労働省）		17.9	に１～２単位/日の輸血量が推奨されていること
乙Ｂ９	内科学（第１２版） （朝倉書店）	写し	平成 17.9	胃がんなどにより上部消化管に狭窄が生じた場合などは経腸栄養の適応であること